

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	国家試験演習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	801
担 当 教 員	山元 昭彦				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域に勤務。脳血管疾患対象者に対し各種心身機能・活動・面接に関する評価を実施。				
《授業科目における学習内容》					
国家試験に必要な神経系に関する解剖生理学、疾患学について学んでいきます。前半は神経生理、神経系の解剖について学びます。後半は疾患学について学び、国家試験問題に取り組んでいく。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験:60% 小テスト:40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:PT/OT国家試験必修ポイント専門基礎分野 臨床医学、標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 参考書:標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 解剖学、生理学ハンドブック					
《授業外における学習方法》					
解剖学や神経内科学の教科書使用して復習してください。国家試験の過去問題を解き、傾向を把握しておいてください。					
《履修に当たっての留意点》					
本講義はこれまで学習した神経系に関する解剖生理学の知識をもとに、神経系に関する、国家試験問題が解けるようになるための手段を学んでいきます。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	中枢神経、末梢神経に関する脳や神経の種類について列挙することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション。中枢神経、末梢神経に関する解剖。			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	神経細胞の構成について述べるができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	神経細胞、神経細胞の分類			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	自律神経や脳神経の種類、機能について述べるができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	自律神経系、脳神経			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	錐体路、錐体外路の経路について述べるができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	錐体路、錐体外路(下行性伝導路)			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	感覚に関する経路について述べるができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	感覚路(上行性伝導路)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症の症状を述べることができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	変性疾患		
第7回	授業を通じての到達目標	ギランバレー症候群の症状を述べることができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脱髄疾患		
第8回	授業を通じての到達目標	脊髄損傷に関する症状を述べることができる。脊髄損傷に関する評価、検査を列挙することができる。	教科書、配布資料、評価機材	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷		
第9回	授業を通じての到達目標	末梢神経の解剖、末梢神経に関する評価、検査を症状に合わせて列挙することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	末梢神経障害		
第10回	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィー、重症筋無力症についての症状について述べるができる。	教科書、配布資料	教科書、参考図書を使用して半側空間無視に関するところを確認する。
	各コマにおける授業予定	筋疾患、筋ジストロフィー		
第11回	授業を通じての到達目標	過去の国家試験問題を基に脳画像(CT、MRI画像)より、脳の解剖と同定することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脳画像		
第12回	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の症状に対する評価、検査を列挙することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	高次脳機能障害		
第13回	授業を通じての到達目標	神経系解剖学・生理学、自律神経系、脳神経、上行性・下行性伝導路に関する過去の国家試験を解き、誤りの理由を説明することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	過去の国家試験問題を解く(神経系解剖学・生理学、自律神経系、脳神経、上行性・下行性伝導路に関する問題)。		
第14回	授業を通じての到達目標	変性疾患、脱髄疾患、脊髄損傷、末梢神経損傷に関する過去の国家試験を解き、誤りの理由を説明することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使って中枢神経に関するところを確認しておく。
	各コマにおける授業予定	過去の国家試験問題を解く(変性疾患、脱髄疾患、脊髄損傷、末梢神経損傷に関する問題)。		
第15回	授業を通じての到達目標	過去の国家試験における筋疾患、筋ジストロフィー、脳画像、高次脳機能障害に関する過去の国家試験を解き、誤りの理由を説明することができる。	教科書、配布資料	PT/OT国家試験必修ポイントを使用して第1回から14回のところまでを復習する。
	各コマにおける授業予定	過去の国家試験問題を解く(筋疾患、筋ジストロフィー、脳画像、高次脳機能障害に関する問題)。		